

ハチはどうして花粉を集めるの

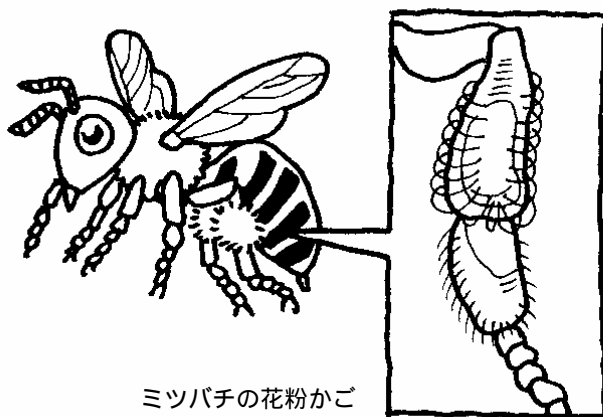
花粉は 幼虫 のえさ

花にやってくるミツバチを観察すると、後ろ足の曲がる部分にくぼみがあり、その周囲を囲むように、まき上がった毛が生えています。ここは花粉かごとよばれる場所で、ハチは足の先で集めた花粉を、ここにかためてくっつけ、巣に運びます。この花粉は、集めたみつと練り合わせて、ハチの幼虫に食べさせます。幼虫のえさなのです。

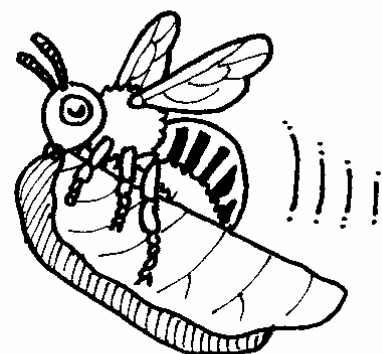
花粉を集めるハチは、ミツバチのほかには、ハナバチ、クマバチ、ハキリバチの3種類だけです。

花粉を胸につけて運ぶハキリバチ

ハキリバチは、竹つつや石のすき間などに、木の葉を丸く切り取ったものを集めて、コップのような形にしきつめ、その中に、花粉とみつを練っただんごをつめこみます。花粉の上には、卵を産みつけます。緑のかごの中に、黄色い花粉だんごとハチの卵が包まれ、木の葉でふたまで作ってあります。花粉はやはり、幼虫のえさです。ハキリバチは、胸の所にびっしり生えた毛に、花粉をつけて運びます。(監修・中山 周平)



ミツバチの花粉かご



木の葉を切って運ぶハキリバチ

